

食事の写真をアップするだけで 健康管理と社会貢献が同時にできる iPhone アプリ 「Table For Two」がグッドデザイン賞を受賞 東大発の技術を利用

健康管理と社会貢献が同時にできる iPhone アプリ「Table For Two」（無料）が、「2012年度グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしました。

本アプリは、日本発、世界の飽食問題と飢餓問題の解決に取り組む NPO 法人 TABLE FOR TWO International（東京都港区、代表・小暮 真久）（略称：テーブルフォーツー、または TFT）と、東大発のベンチャー foo.log 株式会社（東京都文京区、代表取締役社長・小川 誠、略称：フォー・ドット・ログまたは foo.log）と、株式会社電通（東京都港区、代表取締役社長執行役員・石井 直）、株式会社電通レイザーフィッシュ（東京都中央区、代表取締役社長 CEO・得丸英俊）が協働で開発し、昨年12月に Apple の App Store で発表したもので、10カ月間で3万2千ダウンロードされています。



**食事の写真を撮影するだけで
健康管理と社会貢献ができる**

本年11月23日から11月25日に東京ビッグサイトにて開催する受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION」には全受賞作品が一同に展示されます。

このアプリは、毎日の食事を iPhone で写真撮影しアップするだけで、画像からカロリーと栄養バランスを自動解析する食事バランス診断アプリです。さらにヘルシーな食事の写真をアップした際に、協賛企業からの寄付というかたちで、アフリカの子どもたちに学校給食が寄付される仕組みになっています。食事の写真を毎回撮影して記録することは、誰でも手軽に続けられる健康管理の方法として医学的にも注目されています。この食事画像からの自動解析技術は、東京大学情報理工学系研究科 相澤研究室と foo.log による最先端の研究の成果*です。

■過体重10億人、飢餓人口10億人。2つの問題を同時に解決する TABLE FOR TWO の活動

TABLE FOR TWO は先進国の私たちと開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトです。社員食堂や店舗で TFT ヘルシーメニューを購入すると、代金のうち20円が寄付となり、アフリカの子どもに給食1食分をプレゼントできる仕組みになっています。気軽に社会貢献とメタボ予防ができる一石二鳥の取り組みとしてご好評いただき、現在の参加団体は企業、官公庁、大学、病院など510以上。2007年10月の設立以来累計1,600万食をアフリカのウガンダ、エチオピア、ケニア、タンザニア、ルワンダに届けてきました。

TFT は、より多くの方に社会貢献の機会を提供し、同時にご自身の健康や食事について考えていただきたいと考え、日々の食事を簡単に記録できるスマートフォンアプリをリリースしました。

■利用者がヘルシーに、かつ無料でアフリカの子どもに学校給食を寄付



このアプリでは、ヘルシーメニューにチェックをつけて食事写真を投稿すると、協賛企業からの寄付により、アフリカの子どもに学校給食をプレゼントすることができます（1回のヘルシーな食事写真のアップで1円の寄付となり、20回のアップで給食1食分の寄付となります）。Appleの規定ではアプリ上でユーザーから寄付を募ることができないため、協賛企業を募ることで、ユーザーに代わって学校給食プログラムを支援することになりました。企業からの協賛金は全てTFTが支援する学校給食プログラムへの寄付に用いられます。またヘルシーな食事写真の総投稿数が協賛金額を上回った場合は、TFTが追加の協賛を募るまでは、ヘルシーな食事写真を投稿しても学校給食支援には繋がりません。利用者はこのアプリを通して心も体もヘルシーになり、健康的な食事をとることの大切さについて考

えることができます。協賛企業として、日本たばこ産業株式会社と株式会社電通レイザーフィッシュ、株式会社ユーキャンパス、株式会社アルプロンラボが参加しています。

■東大発の「食事写真解析技術」を利用したアプリ

本アプリは、食事の写真を撮影しアップすると、画像から色や質感といった特徴を自動解析し、独自のデータベースをもとに、そのメニューのカロリーを推定します※。1日、1週間、1カ月ごとの食事の記録から主食、主菜、副菜、果物、乳製品などの食事バランスを算出し、グラフで表示したり、日々の食事の過不足を判定しリコメンドする機能も備えています。食べ物の画像からカロリーや食事バランスを自動解析するこの機能は、東京大学 情報理工学系研究科 相澤研究室とfoo.logによる「食事写真解析技術」を利用しています。

※あくまでも参考値で、正確な数値ではない場合がありますので、目安となります。



食事を登録すると
カロリーと栄養バランスを推定

◆電通と電通レイザーフィッシュが企画・開発に関わり、より使いやすいインターフェイスに

また、アプリの企画・開発には、株式会社電通と株式会社電通レイザーフィッシュの2社が、専門スキルをいかした企業の社会貢献として参加しています。コミュニケーションのプロフェッショナルとして総合的なソリューションを提供してきた2社が企画・開発に関わることで、より使いやすく多くのユーザーに利用されるアプリを目指しています。



◆『Table For Two』概要

- アプリケーション名 : 『Table For Two』
リリース時期 : 2011年12月1日
動作環境 : iOS(4.3以上)
利用料金 : 無料
詳細情報 : www.tablefor2.org/project/app.html
主な機能 :
- ・スマートフォンで撮影された食事写真の取り込み・管理
 - ・食事バランスや推定カロリー、ヘルシーメニュー情報の管理
 - ・過去のメニューの管理

iPhone アプリ「Table For Two」利用者の声：

- ・ 食べることも、写真を撮ることも好きなので、無理なく続けられています。
- ・ 以前から食事にはある程度気を使っていましたが、写真に撮って、カレンダー形式で閲覧でき、食べた物を振り返ることができて、自身の食事に関心が高まるようになりました。
- ・ ヘルシーメニューを食べることが誰かのためになる、というのが嬉しいです。
- ・ 自分でヘルシーメニューと判断したときには、1円の寄付につながる、というのは素晴らしいと思います

※本アプリの利用者へのご取材も設定できますので、お申し付けください。

* 本アプリケーションで利用されている画像解析技術は、「東京大学大学院 情報学環・情報理工 相澤研究室」にて研究・開発されています。本研究は、科学技術振興機構「JST」の戦略的創造研究推進事業「CREST」における研究領域「共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築」の研究課題「“食”に関わるライフログ共有技術基盤」の成果展開です。

■ TFTのヘルシーメニューガイドライン ※下記のうち、1項目以上を取り入れることが定められている。

1. 生活習慣病やメタボリックシンドローム改善に役立つようなヘルシー素材や、カロリーダウンの工夫を含んでいる（1食あたり約680-800kcalが目安）
2. 食料問題の改善に結び付くような素材や工夫を含んでいる。
3. 日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材や工夫を含んでいる。

NPO 法人 TABLE FOR TWO International について (<http://www.tablefor2.org>)

2007年10月設立。“TABLE FOR TWO”を直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私達と開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトの下、社員食堂や店舗でTFTヘルシーメニューを購入すると、代金の内20円が寄付となり、アフリカの子どもに給食1食分をプレゼントできます。これまで企業や官公庁、大学、病院など約510団体が参加。気軽に社会貢献とメタボ予防ができるという一石二鳥な取り組みが人気を呼び、約1,600万食（約7万2,000人の1年分の給食に相当）をアフリカのウガンダ、ルワンダ、エチオピア、タンザニア、ケニアに届けました。現在、世界70億人のうち、先進国では食べ過ぎなどによる過体重人口が10億人、開発途上国では飢餓人口が10億人です。TFTは飽食と飢餓という2つの問題の同時解決を目指す社会貢献運動を行っています。

foo.log 株式会社について (<http://www.foo-log.co.jp/>)

「情報技術で食生活を、もっと健康的に・もっと楽しく・もっと文化的に」をテーマに、写真で食事管理を行うことができるWebサービス「FoodLog」を運営する東京大学発のベンチャー企業。食事に特化した画像解析技術を基に、ヘルスケア関連分野でICTサービスを提供。この東京大学で開発された独自の画像解析技術は、foo.logが東京大学より独占的なライセンスを取得し、現在も共同研究・開発中です。

株式会社電通について

2009年12月、社員食堂にTFTを導入。あわせて本業を通じた電通の社会貢献活動として、企業や大学など向けのTFT広報ツールを制作、TFTに提供しました。TFTの世界食料デーキャンペーンのメインビジュアルの制作や、本社ビルに隣接する商業施設カレッタ汐留との協働でのイベントへの協力など、TFTの普及を支援し続けています。

株式会社電通レイザーフィッシュについて (<http://www.dentsu-razorfish.com>)

電通レイザーフィッシュは、電通グループと米国 Razorfish の2つの DNA を持つインタラクティブ・エージェンシーです。当社では、インターネットを中心としたデジタル技術を用いて、戦略構築から Web 制作、クリエイティブ、システム開発・運用、コンサルティングといったクライアントの課題解決に必要なサービスをワンストップで提供しています。

グッドデザイン賞について (<http://www.g-mark.org>)

グッドデザイン賞は、1957 年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで 55 年以上にわたって、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開されており、のべ受賞件数は 38,000 件以上にのぼり、今日では国内外の多くの企業や団体が参加しています。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「G マーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。



お問い合わせ先：

《ご取材や TFT について》 NPO 法人 TABLE FOR TWO International 小林

TEL03-5771-4117 Email : info@tablefor2.org

《技術について》 foo.log 株式会社 TEL : 03-5284-9047 E-Mail : info@foo-log.co.jp

《電通グループの取り組みについて》

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部 TEL : 03-6216-8041

株式会社電通レイザーフィッシュ 広報担当 E-Mail : contact@dentsu-razorfish.com